二色小だより 9月

No. 06
2010年9月2日

★☆★聞かせてください、ちょっといい話(夏休み編) ★☆★

「夏休み、子どもたちのプラス面がちらりと見えませんでしたか？『ちょっといい話』をぜひ教えてください。」とお願いしたところ、子どもたちの成長の様子がとてもほほえましいものが多く寄せられました。すべてを紹介できないのが残念ですが、一部を紹介させて頂きます。

①小さいころは蚊が止まっただけで大泣きしていた息子。昨年までさわることさえできなかったセミと犬の仲良しになり、毎朝セミの鳴き声に誘われ、友だちと楽しそうに出かけていきました。９時になると自分から誘いの電話を入れる姿も昨年までは想像もできませんでした。時々、小さなけんかもしながら、うまく良い関係を築いていく。
　人見知りでおとなしいとばかり思っていた息子が周りの影響を受けながら、外へ外へ…。とても頼もしく思えました。

②毎日仕事に行く私に必ず「いってらっしゃい！」と言ってくれて、自分たちで時間を見て習い事に行ったり、昼ご飯を食べたりして、もちろん宿題もですが、毎日の留守番も大変だったと思います。子どもたちががんばってくれたから、私も毎日がんばって仕事に行けたし、安心して仕事ができました。ありがとうね。

③１人で暮らすおばあちゃんに、会えない時に見て思い出してもらえるよう、さみしい思いをしないよう、じゃまくさがりの子がじゃまくさがらずに絵日記を書いてプレゼントしていました。
　優しく思いやりのある一面が見られてうれしかったです。

④私が仕事から帰ると食器をすべて洗ってくれていて台所がきれいになっていたのには感動でした。
　いとこの家へのお泊まりや旅行の時、自分に必要なものをきちんとその日数分、自分用のカバンにつめ用意していたのには成長を感じました。

⑤お父さんは仕事のため、母子３人で帰省した時の事です。一週間の間に、毎日いろいろな所へ出かけて行ったのですが、妹の分と自分の分２人分の飲み物と雨具を自分のリュックに入れ、文句も言わずいつでも持ち歩いてくれた事にちょっぴり頼もしさを感じました。

⑥小学１年生の妹がいますが、勉強をしていてわからないところがあった時、「ここはこうやるんだよ！」とお兄ちゃんらしくやさしく教えていました。そばで見ていて、とても微笑ましく、そして頼りになるお兄ちゃんだなあと思いました。

「体育大会について」

今年の日程は下記の通りです。

　９月２４日(金)　体育大会準備　給食あり
【午前】練習　【午後】５、６年生全員で準備 ←（１～４年 1:20 下校　５，６年 ２時半下校）
　９月２６日(日)　体育大会
　９月２７日(月)　代休

６日から練習が始まります。水筒、タオル赤帽を忘れずに持たせてください！

当日が雨の時 ⇒
＊２６日は、４時間授業で給食なし。
＊体育大会は２９日(水)に延期　給食あり

★ 体操服販売 ★

　9月4日（金）の午前11時より午後1時まで、二色小学校の体育館前にて体操服の販売をおこないます。新しく購入しようと思われる方はお求めください。転校してきた方については無理に購入される必要はなく、前の学校で着ていた体操服を使用していただいても結構です。今後も参観日などに販売します。

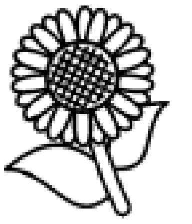
短 縮 時 間 割

　９月１日(水)～３日(金)は、短縮になります。４０分授業の４時限、給食、掃除そして下校になります。最終下校時刻は、午後１時１５分頃の予定です。また、放課後の活動のある日については、各学年のお便りや連絡帳をご覧ください。

行事予定

1 水 始業式　二計測⑥⑤
2 木 二計測④③
3 金 二計測②　ひまわり号　短縮終了　体操服販売
6 月 二計測①　⑤⑥係打ち合わせ　諸費引落
10 金 全体練習
11 土 ＰＴＡ実行委員会
　科学作品展展示会（善兵衛ランド）～１６日
13 月 ⑤⑥係打ち合わせ
15 水 石拾い草抜き
16 木 全体練習
17 金 ⑤お弁当配り
20 月 敬老の日
22 水 全体練習
23 木 秋分の日
24 金 体育大会準備
26 日 体育大会
27 月 体育大会の代休
29 水 体育大会予備日

１０月
　５(火)　諸費引落
　８(金)　なかよし運動会（二色学級の子どもたちが参加）
１１(月)　体育の日
１６(土)　二色ふれあいフェスタ
２５(月)　５年校外学習
２６(火)　３年校外学習
２７(水)　学習参観・懇談
１１月１（月），２(火)　修学旅行



登校日＆学び舎キッズ

　長期休業中の子どもの様子をつかみ、スムーズに２学期がスタートできるように、今年度、８月２５日(水)を登校日としました。そして、そのあと「学び舎キッズ」として二色小学校としてはじめて、１時間学習に取り組みました。
　当初、学校全体で子どもたちの学力を保障していく予定でしたが、人数があまりに多かったので、学年別に取り組みました。
　少しでも多くの指導者を確保するため、来年度二色小学校で実習予定の大学生やボランティアの大学生５名に協力を依頼したところ快く協力していただきました。
　クーラーもない暑い教室での学習なので、しっかり集中できるか心配でしたが、様子を見に行くと、私語もなく勉強に取り組んでいたので、さすが二色小学校の子どもたちと感心しました。（学び舎キッズは２６日も実施）
　また、この日地域の「花と緑の会」坂本さんから丹精された無農薬スイカの差し入れがあり、さようならした後、全校児童が玄関前でおいしいスイカを食べさせてもらいました。みなさんご協力ありがとうございました。

8･6 平和登校日　～平和について考えました～

1年「かわいそうなぞう」

2年「とびうおのぼうやはびょうきです」

3年「おこりじぞう」

4年「はだしのゲン」

5年「夏服の少女たち」

6年「少年Hが見た戦争」

子育てのために　◎より○をみよう　(その2)

木村　司 (泉南市教育委員会指導課　教育相談員)

・「ほめる」とは「認める」こと

　教育相談をする中で「うちの子、ほめるところがありません」という言葉をよく聞きます。この「ほめる」ということ、実は結構難しいと感じている方が多くいらっしゃるようです。「ほめる」というと何かすばらしくよくできている部分を本人に伝えると思われるかもしれません。確かにこれも「ほめる」の側面の１つですが、これだけだと、なかなかほめる機会というのはないかもしれません。

　「ほめる」の側面には「認める」という部分もあります。「これやったんだね」、「しっかりできているね」、「今日はこれできたね」と具体的にした行動や事実について、つまり○の部分を伝えてあげるだけです。これも　「ほめる」ことになります。ないところを無理やりほめたり、大袈裟にほめたりするのではなく、具体的にした行動やできている事実、今ある○の部分を伝えるだけです。

　この年齢であればできて当たり前と思われることやいつも当たり前のようにしていることについて、それをあえて声に出して伝えてください。そうすることで、「僕のこと見てくれている」、「私のことわかってくれている」と子どもは感じます。そう感じると、子どもは不思議と望ましい方向に成長してくれます。よくできている目立つ部分はもちろんほめてください。しかし、それ以上に、もうすでにできていて、目立たない部分や本人も周りもできて当たり前と思っている部分、そこに注目し伝えてあげてください。これが、○の部分を見つけることとほめることになります。

　例えば、朝起きるのが苦手な子がいたとします。いつも７時に起こしても起きない子が７時に起きてきました。こんな時、「今日は７時に起きたね」とだけ伝えてあげたらいいのです。それを、「７時に起きたんだから明日も起きなさいよ」、「ああ、めずらしい。今日は雨でも降るんじゃないか」といわれると、子どもは起きた甲斐がありません。親にしてみれば７時に起きて当たり前と思うかもしれませんが、その子にとっては７時に起きるのは至難の業かもしれません。ですから、できた部分をそのまま伝えるだけでいいのです。

　なぜ、伝えるだけでいいのか？それは、子どもにとっては、いつ何ができているのか意識していないからです。できていないときに　「できていない」といわれることはあっても、できているときに「できている」といわれることはそう多くはありません。つまり、できていないことは意識できても、できていることを意識することはできないのです。これが続くとできていることはたくさんあっても自信のない子になってしまいます。能力は高くても自信のない子が多いのは、こんなことが関係しているのかもしれません。

　では、我が子をそんな風にしないためにどうしたらいいのか？先ほどからお伝えしているように、できていること、やれていることの○の部分、それを子どもに伝えていくことです。ここから始めましょう。ほめることは練習です。練習をすればできるようになります。叱ることが多い親は、「私には出来そうもない」と思うかもしれません。しかし、叱ることが多いということは、それだけ子どものことをよく見ているからだと私は思います。しかも、叱った時が意外と、ほめるチャンスになります。

　例えば、何かを禁止したときに、子どもが不平不満をいってもそれを守ることができたら、その部分を十分にほめます。禁止や叱るという行為をした場合、ついやりっぱなしになってしまいますが、子ども自身が守れたこと、できたことを十分に評価することが大切です。こういったところにも○の部分は潜んでいるのでしっかりと見つけてあげましょう。

（１０月号に続く）